

千葉大学医学部附属病院に間質性肺炎で紹介受診された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025 年 5 月 31 日作成
呼吸器内科

現在、呼吸器内科では、「気腫を伴い線維化進行を認める間質性肺炎の CT 定量解析の有用性の検討」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、以下に示す方の診療情報等を本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

①～③のすべてに該当する方

① 18 歳以上で、2019 年 4 月 1 日～2022 年 5 月 31 日の間に肺気腫と伴う
間質性肺炎と診断された方

② 喫煙歴のある方

③ 診断 1 年後に画像診断で疾患の進行が認められる方

1. 研究課題名

『肺気腫を伴い線維化進行を認める間質性肺炎の CT 定量解析の有用性の検討』

2. 研究期間

2025 年倫理委員会承認後～2025 年 12 月 31 日

この研究は、千葉大学大学院医学研究院長が設置する倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです

3. 研究の目的・方法

肺は肺胞というブドウの房状の小さな袋がたくさん集まってできています。間質性肺炎は、肺胞の壁に炎症や損傷が起こり、壁が厚く硬くなるため（線維化）、酸素を取り込みにくくなる病気です。間質性肺炎の方は喫煙者の方が多く、肺気腫でもある方が少なくありません。昨今の間質性肺炎診療において、肺機能検査を用いた進行性評価は非常に重要なものとなっていますが、肺気腫があり間質性肺炎でもある方は肺機能検査での数

値が信頼できない場合があります。今回の研究では患者さんの臨床情報や検査データから肺機能検査以外での病気の進行性や予後と関連のある因子を探し出すことを目的としています。カルテ診療録をもとに血液検査や画像検査、肺機能検査を使用し、病気の進行性や予後と関連のある因子を探し出します。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査や肺機能検査と画像検査

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：呼吸器内科 教授 鈴木拓児

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院呼吸器内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

(※研究成果の発表後以外に参加拒否の申し出に対応できないケースがあれば、その旨も記載してください) 情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院(病院長:大鳥 精司)

呼吸器内科 教授 鈴木拓児

043(222)7171

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。